

No.155

モラロジー 道徳教育

～知徳一体の教育をめざして～

○道徳教育の新たな充実をめざして

北川治男

○子供が主体的に学ぶことのできる授業づくり

広中忠昭

○道徳科における評価について

坂口幸恵

○脳は親性も育てる

高橋史朗

○何のために学校に来るのか

野口芳宏

○第56回道徳教育研究会の開催予定

○努力は必ず報われる

編集・発行 公益財団法人モラロジー研究所
生涯学習本部 学校教育センター 学校教育課

〒277-8654 千葉県柏市光ヶ丘2丁目1番1号
電話 04-7173-3219 ファックス 04-7176-1177

第56回道徳教育研究会が新たに始まる！

知徳一体の教育理念に基づき、道徳教育の充実と教師の資質の向上を目的として、昭和38年に岐阜県瑞浪市の地にて「教育者研究会」を開始しました。今年度から、名称を「道徳教育研究会」に変更し、全国82会場で開催します。

◇道徳教育研究会のねらい◇

1 知徳一体の教育をめざす研究会

優しさ、勇気、愛情、正義感、責任感などの一般にはよいとされる道徳性も、それを真に生かす知識がなければ、よい人間関係を育て、円満な社会を築くことはできません。

廣池千英第二代研究所長は「教育とは、人間の心に仁愛の精神を植えつけることである」と述べています。医療や情報をはじめ、さまざまな科学技術が進めば進むほど、それを活かすための高い道徳性が必要です。道徳教育研究会では、知識と道徳が一体となった教育のあり方を探求します。

2 教師自身がよい生き方をめざし、教師自ら思いやりの心を学び育てる研究会

学校における道徳教育は、道徳科の授業を

中心に、学校教育全体を通じて行うものです。その基礎となるのは教師の人間性であり、感化力です。教育基本法には「教員は、自己の崇高な使命を深く自覚し、絶えず研究と修養に励み、その職責の遂行に努めなければならない」とあります。教師自身がよい生き方について学び、毎日の教育実践を通じて人間的に成長することが大切です。

私たちはまず、真に人を思いやるとはどういうことかについて学び、その上で、相手を尊重し、よく理解し、相手の成長を願って接する努力を続けます。

3 道徳科の授業の充実と学校教育の課題に 応える研究会

道徳教育研究会では、効果的な道徳の授業の追究だけでなく、学校教育の課題の解決に迫る情報提供もしていきたいと考えています。「教育行政」「学校」「モラロジー研究・教育活動」の三者が共に「やってよかった」と思える「三方よし」の研究会をめざします。

※今年度（四月）から道徳教育推進部の名称が「学校教育センター」に変わりました。